

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 75 分

## 解答形式

選択, 記述

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

## 出題の特徴や昨年との変更点

昨年同様, 論述問題は出題されなかった。

## その他トピックス

ズバリ! 的中 大問(Ⅲ)の問2と直前講習広大化学テスト第1講の(Ⅲ)

アレニウスプロットの類題は2020年度に出題されている。

プロピンの3分子重合は2012年度に出題されている。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔Ⅰ〕	選択 記述	酸化還元 窒素化合物 化学量論	化学基礎 化学	酸化数, 酸化還元 ハーバー・ボッシュ法, オストワルト法 炭素とオゾンの反応の量的関係	標準
〔Ⅱ〕	選択 記述	反応速度 電離平衡	化学	反応速度, 平衡定数 アレニウスプロット, 活性化エネルギーの算出 文字式を用いた電離平衡, 緩衝液, 塩の加水分解	やや難
〔Ⅲ〕	記述	油脂 芳香族化合物	化学	油脂の構造決定, 脂肪酸の酸化開裂 C <sub>8</sub> H <sub>10</sub> の構造決定, プロピンの3分子重合	標準
〔Ⅳ〕	選択 記述	合成高分子化合物	化学	付加重合, 開環重合, 縮合重合 平均分子量の測定(浸透圧, 凝固点降下)	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

基本～標準的な問題が多いが、細かい知識や考察力を要する問題も出題される。論述・描図問題, 文字式を含む煩雑な計算問題も出題されることがある。対策としては、教科書の基本事項を確認し, 問題演習を通じて知識の定着を図ることが必要である。また, 難しい問題が出題されることもあるので応用力をつけておきたい。論述問題の対策として, 日頃から簡潔, 明瞭に文章を書く練習をしておくことが大切である。